

日本列島における梯子獅子舞の 分布とその特徴

A Study of the Distribution and Characteristics of
“Hashigo-Jishi” Ladder Lion Dance in the Japanese Archipelago

牧野由佳

MAKINO Yuka

- ① 梯子獅子舞に関する先行研究
- ② 梯子獅子舞の伝承地分布
- ③ 梯子の形態による分類とその特徴
- ④ 伝承圏域内での梯子獅子舞の伝播
- ⑤ 伝承エリアを越えた伝播の可能性

結論

【論文要旨】

本稿は、日本各地に伝わる梯子を用いて曲芸的な演技をする獅子舞・虎舞（本稿ではこれらを「梯子獅子舞」と総称）の日本列島における伝承実態をフィールドワークなどから明らかにし、伝承地の地理的特徴や各地の梯子獅子舞の差異を分析するとともに、同芸能の伝播について考察することを目的とした論文である。

梯子獅子舞については、これまでに民俗芸能研究者などによって、いくつかの伝承地を対象とした個別研究が行われてきた。しかしながら、日本全域を対象とし、梯子獅子舞の伝承状況—いずれの地域にどれほどの数の梯子獅子舞が伝承されてきたか—や、伝承地の地理的特徴などの解明に正面から取り組む研究は行われてこなかった。

本稿では、まず文献調査やフィールドワークなどから、現存する梯子獅子舞と、中断あるいは消失した梯子獅子舞伝承地を明らかにした。筆者の調査の結果、2019年時点で33か所の梯子獅子舞が現存し、少なくとも25か所で過去に梯子獅子舞が伝承されていたことが判明した。

また、本調査を通じて、梯子獅子舞伝承地の位置について、特徴的な分布を示すことが確認された。すなわち、東北から九州にまで広く分布しているが、主として太平洋・瀬戸内海・紀伊水道の沿岸部とその周辺に伝承されており、日本海側には認められない。また、伝承地が集中する地域（梯子獅子舞伝承圏域）が複数設定できることや、各地で用いられる梯子の形態は一様ではなく、伝承圏域により差異があり、四形式にタイプ分類できることを指摘した。

以上のような伝承地の地理的な特徴を踏まえ、梯子獅子舞は主として、近世から近代にかけての海上での人々の活動により広域的な伝播がなされた可能性が考えられるとする仮説を立て、歴史資料を用いた考察の必要性を述べた。

【キーワード】 梯子獅子舞、芸能の分布と伝播、梯子虎舞、伝承圏域、地理的特徴